

第3回「女性の雇用促進(平成27年11月16日開催)」 主な御提言に係る県の対応

主な御提言（要旨）	県の対応
<p>女性が活躍していくためには、イクボスを増やすこと、また、長時間労働を適正化する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イクボス養成講座を4地域（名古屋・尾張・東三河・西三河）で開催したほか、「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動2015」において、「県内一斉ノー残業デー」当日に県内主要駅で通勤者等に定時退社を呼びかける街頭啓発活動を実施したほか、11月中の定時退社を実施する事業所を募集しました。今後も、時間外労働の抑制や多様な働き方・効率的な働き方の普及啓発を継続して行っています。
<p>経営者や管理職の意識改革を進める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の活躍のカギを握る企業経営者の意識改革を図るため、平成27年10月26日に「あいち女性の活躍促進サミット2015」を開催しました。平成28年度も継続してサミットを開催するほか、優れた取組を行っている企業の表彰を新たに行います。 ・平成26年9月から、個別企業の「女性の活躍促進宣言」を募集するとともに、平成27年5月から、女性の活躍に積極的に取り組む企業を「あいち女性輝きカンパニー」として県が認証する制度を創設しました。 ・男性管理職を対象に、女性社員の育成方法等を学ぶ「男性管理職向けワークショップ」や、管理職として将来活躍する人材を育成するための「女性管理職養成セミナー」を開催しています。
<p>保育所の整備を進めて欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の整備については、市町村が実施主体となり、国の安心こども基金及び保育所等整備交付金を活用して、整備を進めており、平成27年度は32施設の整備を行っています。平成28年度も、基金及び交付金により整備を継続していく予定です。県としましても、引き続き計画的な整備が行われるよう、支援してまいります。
<p>大学生の就職活動支援として、 ①求人票における産休・育休情報の充実 ②実際に企業で働いている方から話を聞く機会を設けること ③身近な複数のロールモデルの提示 を行って欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護休業法を遵守した規程等を整備した「愛知県ファミリーフレンドリー企業」登録制度を運用し、その普及拡大に取り組んでいるほか、登録企業専用サイト「ファミフレネットあいち」で従業員の仕事と子育て等との両立を支援する各企業の取組状況などを紹介するとともに、各企業が、リクルート情報を発信するコーナーを設けています。 ・就職活動前の大学生等を対象としたモノづくり魅力発信セミナーや職場見学・体験事業の中で、若手社員との交流の時間等を設けています。 ・モノづくり現場で働く女性技能者27名を紹介する冊子を作成し、県内の学校等に配布したほか、平成28年1月23日には、企業の人事担当者、女子学生、教員等を対象に、モノづくり現場で働く女性技能者の体験等を聞き、意見交換を行う「モノづくり女子座談会」を開催しました。
<p>固定的な性別役割分担意識をなくし、「働く意識」を幼年期からの連続したキャリア教育の中で醸成していく必要がある。</p> <p>-----</p> <p>理系の進路選択や就職を希望する学生に向けた、時期を捉えた相談体制の整備や情報提供の必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・女子中高生、保護者、教員などを対象に女子中高生の理系進路選択を支援するシンポジウムを平成26年度から開催しています。また、平成28年度は、職業上の性別固定的役割分担意識の解消と、より多くの女子生徒の理系分野への職業選択への興味・関心を喚起・向上させるため、啓発用リーフレット及びポスターを作成します。 ・高校生の進路指導等に活用するための男女共同参画に関する教材を開発し、平成28年度に全県立高校に配付します。また、先進的にワーク・ライフ・バランスや女性の活躍促進、男女共同参画を進めている企業を訪問し、企業の方から直接話を聞いたり、ミニ就業体験ができるバスツアーを実施します。 ・平成28年2～3月に、中・高・大学生、教員、保護者を対象とした「女性活躍職場見学ツアー」を実施しており、平成28年度は小・中学生と保護者、教員を対象に「モノづくり女子」が活躍する町工場を体験するバスツアー等を実施します。 ・全ての全日制県立高校において、勤労観・職業観や主体的な進路選択ができる能力・態度を身に付けさせるため、インターンシップ等の職場体験を実施しているほか、専門高校等では、産業界等のプロフェッショナルから専門分野における知識・技能について直接指導を受ける機会を設けています。 ・児童生徒の発達段階に応じてキャリアプランニング能力を育成するため、キャリア教育ノートを作成・累積保存し、節目ごとに振り返ることで、小学生から高校生までの系統的なキャリア教育を推進しています。 ・小中学校で、職場訪問、講演会、職場体験等を開催しています。また、中学生が各学科の学習内容をよく理解した上で、本人の能力・適性にあった学科を選択し、目的意識をもって進学できるよう、高校の体験入学を実施しているほか、産業教育について学ぶ高校生の活躍を幅広く紹介することを通して、産業教育への理解を深めていただく「あいちさんフェスタ」を開催しています。 ・平成28年度には、次世代自動車産業や航空宇宙産業など次世代のものづくりに必要な技術・技能を総合的に学べる新しい形の工業高校として県立愛知総合工科高等学校を開校するとともに、小中学校の教員を対象とした見学会などの実施を検討してまいります。